

(1) 教育への利用

<平成 23 年度>

授 業 科 目	利 用 内 容	研究科又は学部名	学年	利用 学生 数 A	利用 実日 数 B	延利用 学生数 A×B
大地と家畜からの めぐみ(農場体験)	農場体験実習	全学部	2 以上	30	15	450
教養ゼミ	農場見学	教育学部	1	23	1	23
教養ゼミ	農場見学	生物生産学部	1	20	1	20
フィールド科学演 習	干潟の生態系の理解(水産実験所)	生物生産学部	1	60	1	60
フィールド科学演 習	農場と学生自らとの関わりについ て考える見学(農場)	生物生産学部	1	60	1	60
基礎生物生産学実 習	沿岸での生物採集	生物生産学部	2-3	94	1	94
植物環境分析学実 験実習	土壌調査(農場)	生物生産学部	2	23	1	23
植物環境分析学実 験実習	イタリアンライグラスによる土壌 肥沃度評価(精密実験圃場)	生物生産学部	3	24	22	528
農場実習 I	農場管理の実際を実習	生物生産学部	3	19	15	285
臨海生物生産学実 験実習	アマモ場における水生生物の行 動、生態	生物生産学部	3	25	6	150
家畜生殖学実験実 習	直腸検査実習	生物生産学部	3	17	2	34
植物栄養生理学実 験実習	トウモロコシ・ダイズの生育に及 ぼす肥料3要素試験	生物生産学部	3	24	17	408
動物栄養学実験実 習	In vitro 消化試験による飼料評価 法	生物生産学部	3	20	6	120
動物栄養学実験実 習	ヒツジの内分泌反応に関する実験	生物生産学部	3	20	6	120
動物生体機構学実 験実習	牛の解剖	生物生産学部	2	20	3	60
食品化学実験	農場牛乳	生物生産学部	3	25	5	125
畜産食品製造学実 験実習	農場牛乳	生物生産学部	3 以上	34	3	102
研究エグゼクティ ブセミナー「特別 実験実習」	ウシの解剖	生物生産学部	1	8	1	8
輸送機器環境工学	製作した模型飛行機の飛行実験	工学部	3	50	1	50

プロジェクト I						
演習Ⅱ－3年ゼミ ナール後期	動物介在教育について学ぶ	東洋英和女学院大 学人間科学部	3	9	1	9
発酵生産・醸造学	家畜の飼育又は搾乳体験、畜産物 からの食品製造実習	福山大学生命工学 部		34	1	34
生物学概論	家畜飼育に関する学識及び技術の 習得	広島市立大学国際 学部・芸術学部		28	1	28
分子栄養学	農場、食品製造実験実習棟見学	県立広島大学人間 文化学部		14	1	14
生活研究	動物福祉の見聞、チーズ・牛乳の 工程について見聞と演習	福山平成大学福祉 健康学部		45	1	45
里海フィールド演 習	海の生物に関する講義、顕微鏡観 察	中四国国公立大学	1-4	18	4	72
命の尊厳を涵養す る食農フィールド 科学演習	学外の非農学系学生に対する、飼 料生産、乳牛の飼育、畜産物の加 工などに関する体験学習と発表	中四国大学・高専 (教育関係共同利用 拠点事業)	1-4	34	4	136
酪農フィールド科 学演習	学内外の農学系学生に対する、飼 料生産、乳牛飼養管理、畜産物の 加工などに関する実習、講義、演 習		1-4	38	4	152
水圏生物実験実習	海の生物に関する講義、顕微鏡観 察	生物圏科学研究科 博士課程前期	1	20	1	20
陸域動物生産学実 験実習	ウシの採血	生物圏科学研究科 博士課程前期	1	4	1	4
瀬戸内圏フィール ド科学演習 (A)	陸域フィールドにおけるヒトと動 物との共生について学ぶ	生物圏科学研究科 博士課程前期	1	4	1	4
陸域生物圏フィール ド科学実習	家畜生産フィールドにおける物質 循環	生物圏科学研究科 博士課程前期	1	8	1	8
家畜機能形態学	ヤギの解剖	生物圏科学研究科 博士課程前期	1	6	1	6
瀬戸内圏フィール ド科学演習 (B)	陸域フィールドにおけるヒトと動 物との共生について学ぶ	生物圏科学研究科 博士課程後期	1	4	1	4
International summer school	海の生物に関する講義、顕微鏡観 察	大学院生(アジア)	1-2	5	1	5
高大連携公開講座	動物とのふれあいを通じて学ぶア ニマルサイエンス	高校生	4	35	1	35
子供夢基金	海洋生物の生態についての実験実 習	高校生	1-3	30	3	90
瀬戸内海の生物と 環境を考え実感す	瀬戸内海の生物と環境についての 実験実習	高校生	1-3	30	2	60

るサイエンス SPP						
体験学習	親子の食農体験	附属幼稚園		60	1	60
農場見学	農場のフィールドを用いた食農体験	地域の幼稚園及び小学生		98	5	491
農場祭 (農場体験)	地域住民に対する公開食農教育	地域住民		800	1	800